

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスみらいのいぶき		公表日 令和8年3月10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		一か所にお子様が集まるときは、スタッフがお子様を移動させ、他害が起こらないようにしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		平日は充足しており、(日)は若干不足していると思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		荷物棚は子どもさんが自分で行いやすいように大きな文字で、理解度に合わせて「漢字」「ひらがな」表記を行っています。収納箱には何が入っているか分かるように、引き出しに中の写真を張り付けている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日々の環境整備を毎日、終業後に行っています。また、その日の振り返りを行い、危険物や危険箇所の配置換えを都度行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	個別部屋はありませんが、個別の空間(場所)を設けています。個室はありませんが、パーティションを使用して仕切りはできるようになっています。周囲の音など敏感なお子様にはイヤーマフを着用していただくなどしています。	お子様にあった環境を提供出来るよう今後も工夫して参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			月に1回全体での目標の共有を行い、業務に関する振り返りもしながら業務改善を進めております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			毎年実施するアンケートをできる限り取り込んで法人全体で実施しております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		月に1回の業務改善目的のスタッフミーティングを開催しています。終礼時に、今日の支援や保護者様の情報を共有し、改善案を考えている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者を任命してまでは行っておりません。	外部、評価は行っていないため今後検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	Web研修、対面実践研修に参加しています(児発管研修)。半年ほど前までPTの研修をされていました。また、障害児支援に関する書籍を読んで、感想を共有する取り組みなどはありました。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページに5領域における年間指導計画に基づいて、支援プログラムを作成しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		それぞれの職種目線からアセスメントを行い、個別支援計画のためのミーティングを定期開催し、計画を作成しています。	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		上記同様です。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		子どもさん毎の計画書における短期目標とを抜粋し、情報を整理整頓した表を毎日印刷し、朝礼にて周知を図っています。それを基に実践しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		日常生活の適応に対する評価表は使用していますが、標準化されたツール(MSPA、Vineland-II、ADHD-RS)などの評価バッテリーまでは使用できていません。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			それぞれの職種目線からアセスメントを行い、個別支援計画のためのミーティングを定期開催し、計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			チームと系列の事業所をも巻き込んで実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			年間計画に準じておこなっており、前回と同じにならないようにバージョンアップさせています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			集団活動を午後の決まった時間に行い、個別活動を左記以外の時間に行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			設問14と同様です。子どもさん毎の計画書における短期目標とを抜粋し、情報を整理整頓した表を毎日印刷し、朝礼にて周知を図っています。それを基に実践しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			終業後には終礼を実施し、それぞれの視点で気づいたリスクの追加、それに伴う環境再設定、できた点を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		実施した記録「活動記録」は、保護者様へお渡しする「連絡帳」と運動しております。必要な状況と判断されたときは支援の検証を職員間で行い改善に向けて共有するようにはしてあります。	アクシデントや連絡帳、日々のアセスメントシートの更新などリスクから成長など記録に残すようにしている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		個別支援計画書の更新時期前には、再作成のためのモニタリングを実施しています。連絡帳や日々の送迎の会話などからも情報を参考にしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4				①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動③地域交流の機会提供④余暇の提供とバランスよく考えて行っていますが、③は今後の課題です
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4				活動ではお子様一人一人の課題が設定されており、考える力を伸ばす取り組みを行っております。
	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			事前準備として、出席するスタッフは他のスタッフの意見を聴取し参加している。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		保育は養成校との連携パイプを構築、教育機関(特別支援学校等)との連携パイプと密な情報交換は検討課題です。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4		学校との情報共有に関して、年会計画や下校時刻の確認等、学校や保護者様に確認を継続して行い、送迎時のトラブル等も保護者様、学校ともに連絡を行って参ります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	保護者様から得られる情報に頼って、就学前の事業所からの情報収集までではできておりません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	担当者会議、相談支援事業所の相談支援専門員を通して情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		研修スタイルは様々なものがありますので、ベストな研修方法を選択し、受講したいと思っております。地域の児童発達支援センターとの密な連携は今後の課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	グループ内施設の保育園との交流はありますが、地域の子どもの交流はできておりません。	一般学校における放課後児童クラブ等の交流は行っておりません。同企業内に企業主導型保育園が同一敷地内にございますので接する機会があります。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		4	積極参加までではできておりません。	積極的な協議会への参加は今後の課題です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の様子は送迎のお受け渡しの際に時間を作ってお伝えしています。また、連絡帳を通し、写真付きでイメージが湧きやすいように工夫を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	ご家族が参加できる研修の機会等はできておりません。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っております。丁寧さは心掛けておりますが、保護者様へ充分伝わっておられるかは定かではありません。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		特に意識して作成しております。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		口頭で不十分な点もあるかと思い、複写した計画書(原案)を一旦お預けし、不足点を直接記載していただいています。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		質の向上は事業所全体の課題という認識です。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	保護者様による「父母の会」の組織は現在設置しておりません。(夫婦共働き、既に学校の役員をされている等の声を頂いてます)現在のところ、保護者様より必要性を感じないとの声も頂いています。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		受付から対応まで、社内体制の整備を行っています。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		4	定期的な通信は現在発行できておりません。活動概要はホームページに記載しており、日々の様子は写真付きの連絡帳を活用しています。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		4		個人情報保護に関する誓約書交わし、留意しながら業務を行っています。	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		4		様々なコミュニケーション手段がありますが、状況に応じベストな方法(特にIT)を模索しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		法人全体やグループにおいて「餅つき」や「交流イベント」を行ってまいりました。状況に応じて開催が検討課題です。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	左記のマニュアルの整備、マニュアルに応じた訓練を実施しております。しかし、社内の訓練行事ということで、保護者様への周知は、子どもさんが関係する「避難訓練」のみとしています。	職員間ではマニュアルを基に訓練を実施しており、周知が大前提ですが、ご家族へはマニュアルの周知までは至っておりません。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		定期的に行い、振り返りを実施している。業務継続計画の策定、訓練共にしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			朝礼にでも周知しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	食物アレルギーに関しては、食事やおやつの提供をしておらず、ご家庭の持参で対応しています。指示書ではなく、契約前の情報収集にてアレルギーのヒアリングを行っています。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			年間の安全計画に基づいて、実施しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			子どもさんの参加を伴う訓練(避難訓練、緊急時シミュレーション訓練)時にはお知らせしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			ヒヤリハットは終礼時の振り返り時に再発防止策をセットにて共有しております。また、アクシデントまで発展した際は、「経過報告書、改善報告書、状況見取り図」をセットにし、速やかに作成、グループ社員全員へ周知しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			全員で話し合う機会がある。虐待防止委員会を定期的に行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			身体拘束が必要があるかどうか話し合う機会が設けられている。放課後等デイサービスの計画に身体拘束の件を記載し、保護者様に説明を行っています。		